

ぼうがーぼんあったとき—あそびえかきうた 伝承編—
よしだていいち 編
しのはらよしたか 絵

らくだ出版 1982年 855円



「ぼうがーぼんあったとき おなべかな おなべじゃないよ はっぱだよ はっぱじゃないよ かえるだよ…」ではじまるコックさんや、たこにゆうどう、かっぱなど20編の絵かきうたが紹介されています。絵かきうたは、歌いながら線をかいていくと、ひとつの絵ができあがる遊びです。見開きの左のページに歌のことばとできあがりの絵が、右のページに書き順が載っていて親子で楽しめます。シリーズは「はっぱのなかのはっぱ」など全3冊です。



まがればまがりみち
井上洋介 作

福音館書店 1999年 800円

「ひぐれの町の 曲がり道 何が出るのか 曲がり道」「大きな がまさん 出たりする」。くり返されるフレーズに続いて出てくるものは、まよい電車だったり、えんとつ男だったり不思議なものたちばかりです。言葉のリズムが心地よく、次は何が出てくるのかワクワクします。夕方の散歩が楽しみになりそうな絵本です。

マーシャとくま—ロシア民話—

M・ブラートフ 再話

E・ラチョフ 絵

うちだりさこ 訳

福音館書店 1963年 800円



森へ遊びに行ったマーシャは友達とはぐれ、森の奥深くのくまの小屋に迷い込んでしまいました。マーシャは、召使いとしてくまの小屋で暮らすことになり、なかなか家に帰れません。そこで、マーシャは、考えに考えていいことを思いつきます。知恵をしばって逃げだそうとするマーシャと、だまされるくまの様子が力強い絵で描かれます。繰り返されるマーシャとくまの問答が楽しい絵本です。